

研究の背景・目的

コミュニケーションにおいて、適切に意味を伝達するためには、必要な情報を不足なく伝えることに加え、誤った情報や曖昧な情報は述べないことが必要である。**談話=まとまりのある意味を複数の文で表現したもの**

失語症者では、語彙、統語機能の低下により、談話の意味伝達力が低下する。

主要内容を表現した文 (以下、Main Concept) が少ない (Nicholas1995)

Wernicke失語では、**不適切文が多い**。(Christiansen1995)

タイプの異なる失語症の談話特徴や談話の意味伝達と喚語力との関連については十分明らかになっていない。

【目的】失語症者の談話の意味伝達力低下を、中核的な内容の欠落と不適切文の付加という観点から調べ、失語症タイプによる談話特徴の差異と、意味伝達力と喚語力との関係を明らかにすることである。

方法

【対象】

左大脳半球病変で失語症を呈した患者11名

Broca失語6名、Wernicke失語5名

平均年齢 56.1±11.9歳 (男性8名、女性3名)

症例	年齢	性別	利き手	疾患名	失語症タイプ	発症からの経過月数
B1	45	男	右	クモ膜下出血	Broca	7
B2	45	男	右	脳出血	Broca	71
B3	50	女	右	脳梗塞	Broca	24
B4	49	男	右	脳出血	Broca	49
B5	52	男	右	脳梗塞	Broca	3
B6	64	女	右	脳出血	Broca	3
W1	54	男	右	脳出血	Wernicke	8
W2	67	男	右	脳出血	Wernicke	17
W3	47	男	右	脳出血	Wernicke	10
W4	60	女	右	クモ膜下出血	Wernicke	31
W5	84	男	右	脳出血	Wernicke	7

対照群：健常成人10名

平均年齢 52.3±17.6歳 (男性5名、女性5名)

【課題】

1) 談話課題：

材料－情景画5個

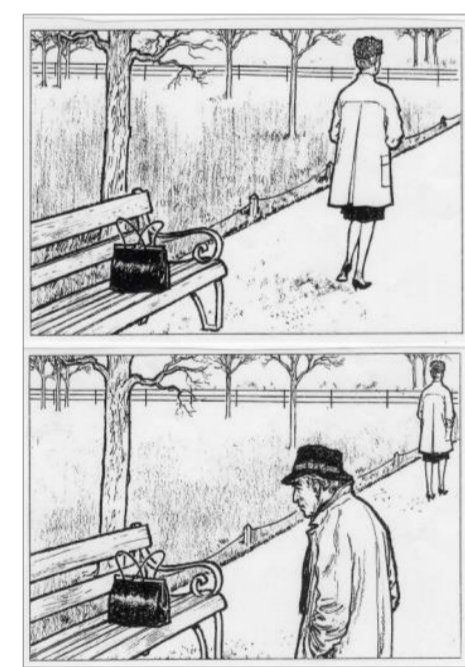
手続き－画を見せ、話の筋を発話してもらった。

評価方法－発話のまとまりを示す発話単位 (C-unit) に分けた後、Main Concept数、不適切文の数を数えた。

Main Concept：情景画に描かれ、話の筋を表す主要な内容。7割以上の健常者が発話したもの。(21個)

不適切文：情景画の内容に一致せず不適切なもの。発話の中断や錯語などにより、指し示す意味が不明瞭なもの。

課題画とMain Conceptの例



女の人がベンチに鞆を忘れる。
男の人が忘れ物に気づく。
男の人が女の人を追いかける。
女の人が男の人にお礼を渡す。

2) 語彙課題

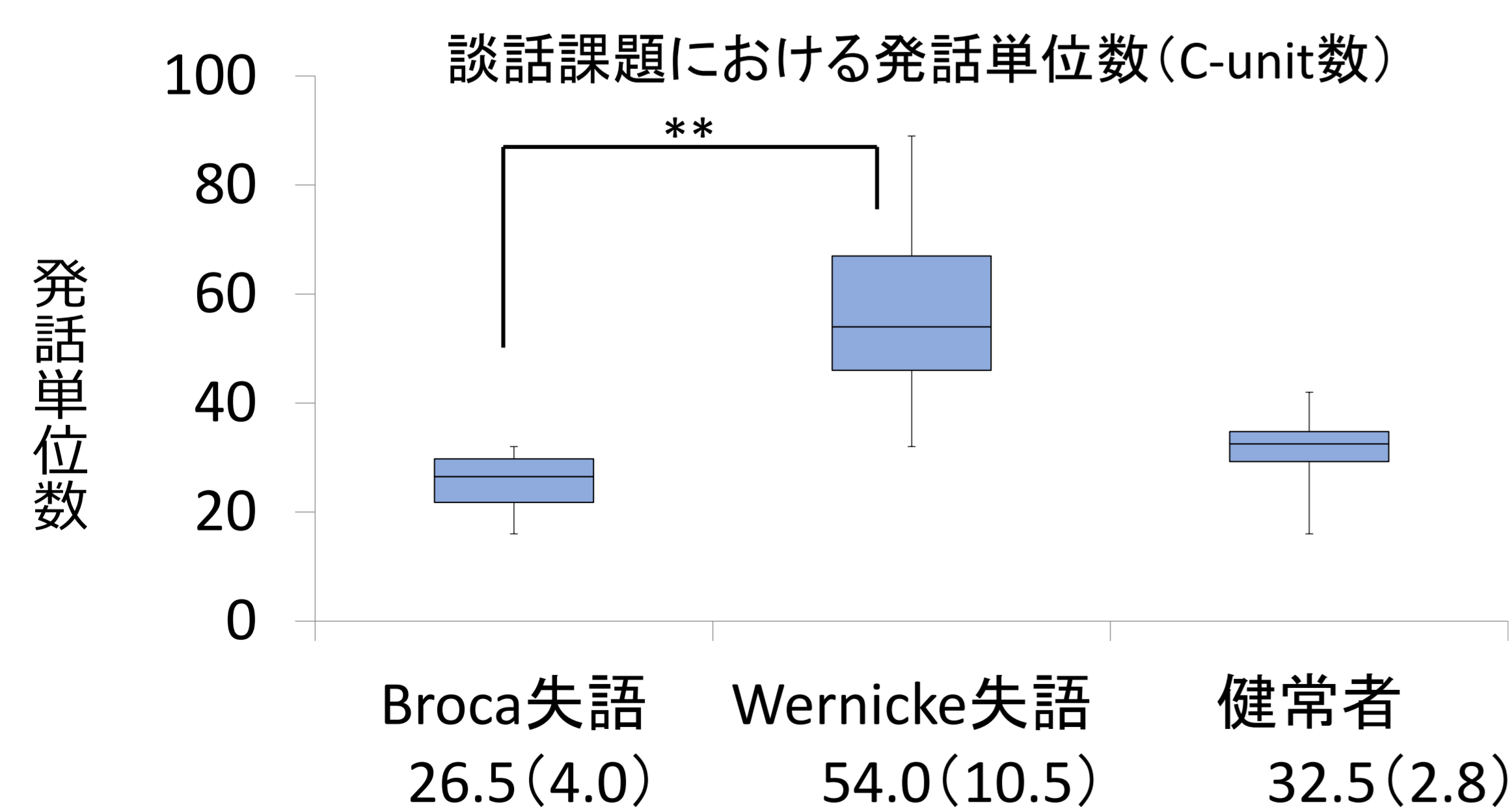
材料－失語症語彙検査

(名詞表出検査40語、動詞表出検査40語)

手続き－画を見せ、画の名前を呼称してもらった

評価方法－呼称正答数を求めた。

結果 I 発話量



Wernicke群はBroca群より有意に発話数が多かった。

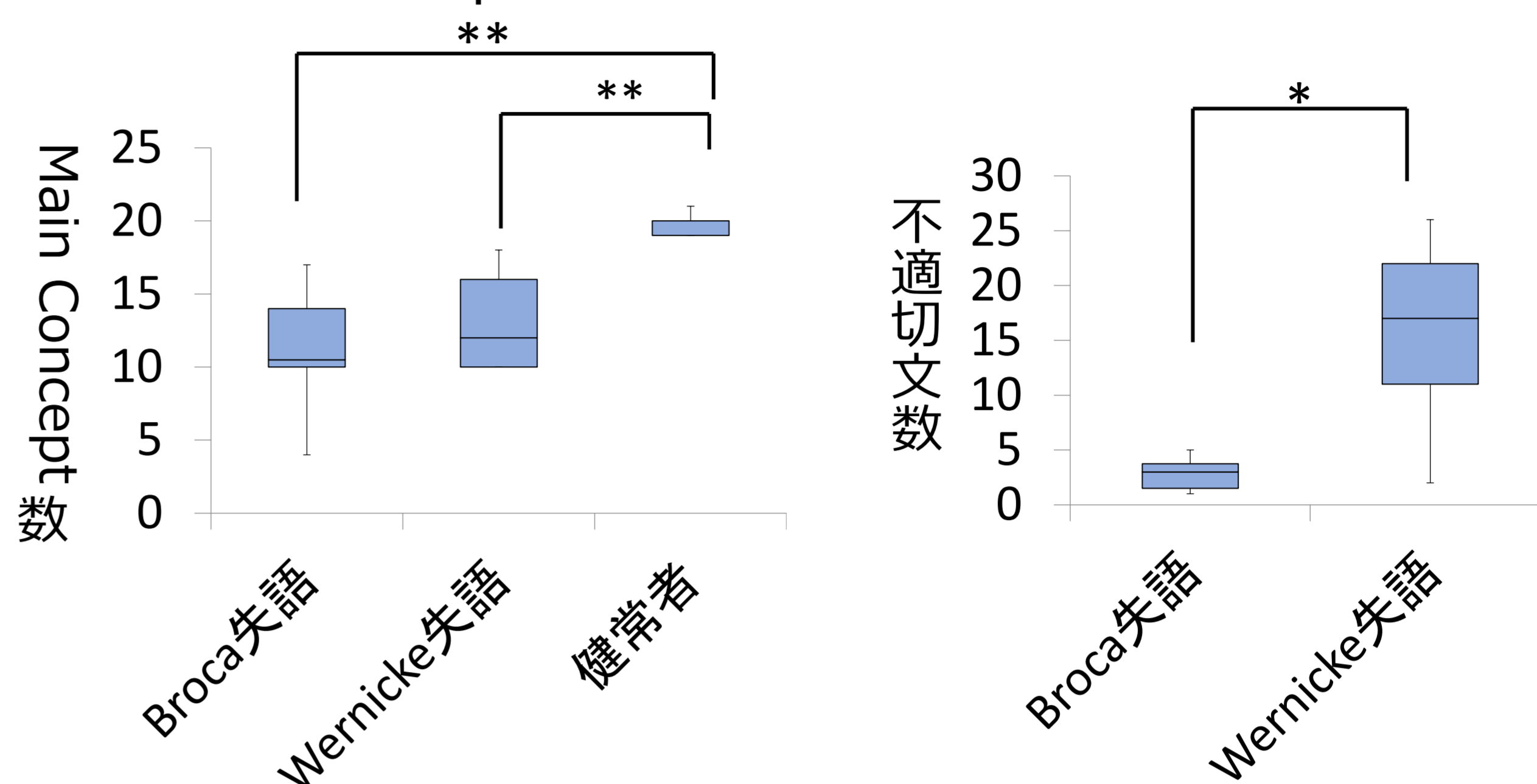
結語

失語症では、談話の意味伝達力に低下を認め、Broca失語では必要な情報の欠落、Wernicke失語では必要な情報の欠落と不適切文の付加により、意味伝達低下と考えられた。

失語症の喚語力の低下は、不適切文の表出に関連し、喚語力が低い失語症者は不適切文を多く発話していた。談話で主要な情報を表出するためには喚語力以外の要因が関与する可能性が考えられた。

結果 II 談話の意味伝達

1) Main Concept 2) 不適切文

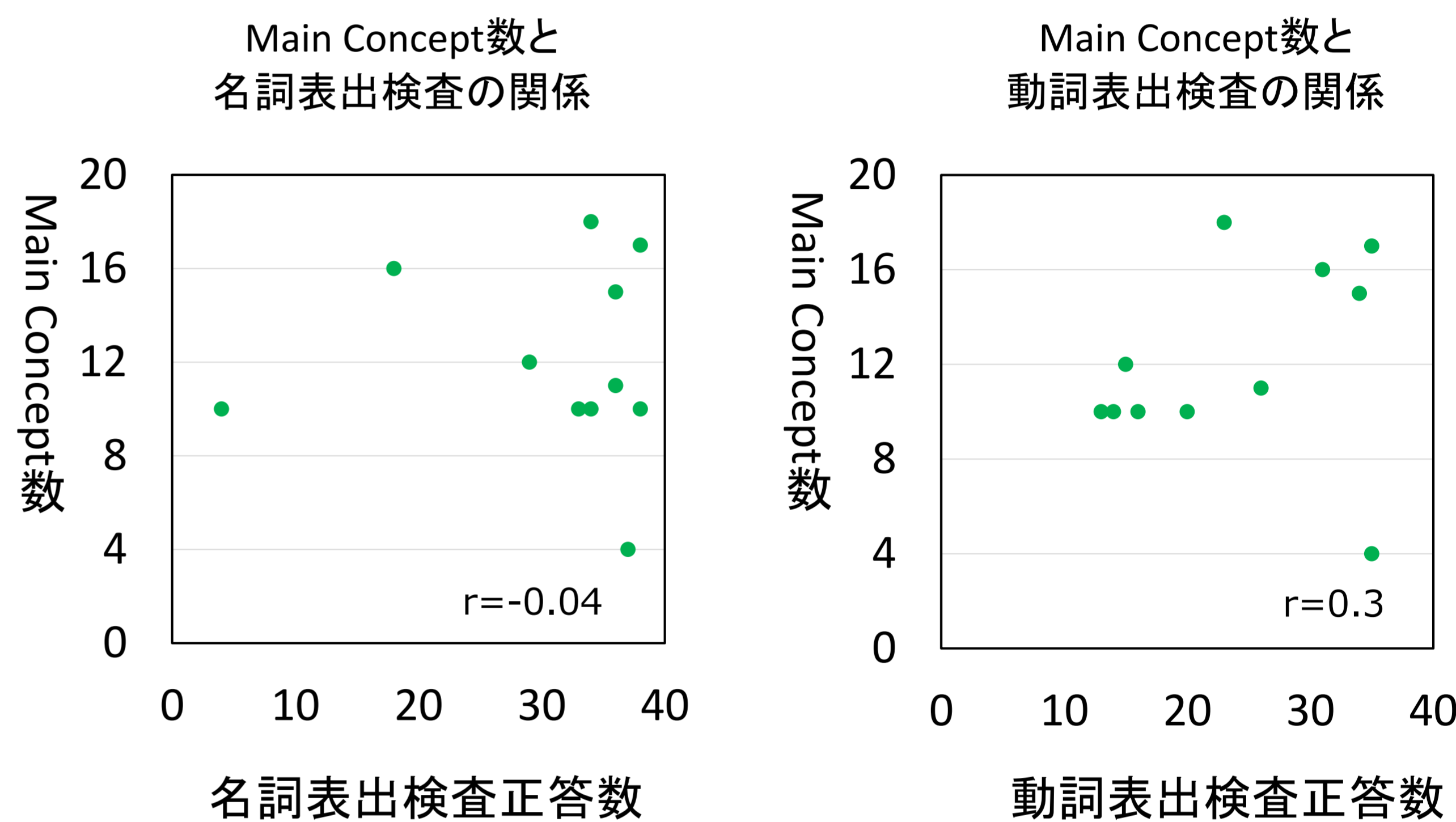


Main Conceptは健常群に比べ低下を認めたが、失語症タイプによる差は認めなかった。

不適切文はWernicke群がBroca群より多かった。

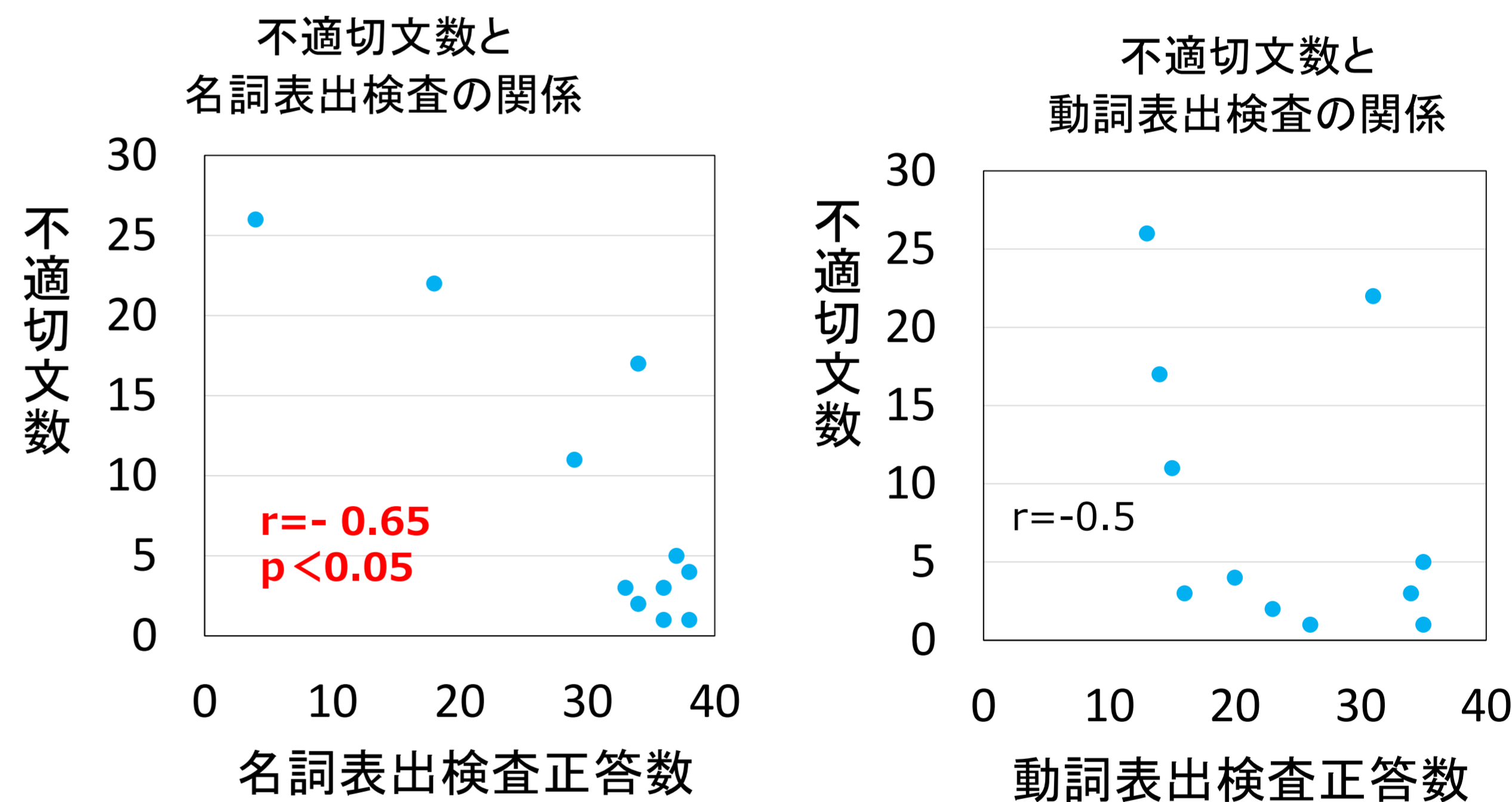
結果 III 談話の意味伝達と喚語力の関係

1) Main Concept と喚語力の関係



Main Concept数と語彙検査成績は相関を認めなかった。

2) 不適切文と喚語力の関係



不適切文と名詞表出検査は有意な負の相関を認めた。

不適切文は、錯語や発話の中断などの表現の誤りが多く、内容自体の誤りは少なかった。

考察

- Broca失語は発話量が少ないが不適切文の表出が少なく、必要な情報の欠落により、意味伝達低下と考えられた。
- Wernicke失語は発話量が多くても不適切文の表出が多く、必要な情報の欠落に加えて、不要な情報の付加により意味伝達低下と考えられた。
- Main Conceptの表出と喚語力には関連は認めず、談話の主要な内容の表出には喚語力以外の要因も関連する可能性が考えられた。
- また、名詞呼称成績が低いほど不適切文が多く、喚語困難による発話の中断や錯語により不適切で不明瞭な文が表出され、談話の伝達力が低下すると考えられた。